



岩谷緑地
「いろんな生き物、
スケッチしたよ！」



飼育の様子
「ウサギ、かわいいよ！」



プール掃除
「2年分の汚れと格闘中！」



失敗も思い出♪
「みんなでやってみよう！」



協力して掃除が
「できた！」

人が伸びる成長するためには、温かい雰囲気で、互いに励まし合う関係が必要です。そこで、三年生では、わからぬことを互いに教え合う『学び合い』に取り組んでいます。「みんながわかるようになります。」その言葉に応えて友達のそばに寄り添って、相手に伝わるように話そうとする姿はとても素敵です。

また、いろいろな経験をもつ素敵な大人に出会い、関わることも、「のびる」ことにつながります。「ほん学」（総合的な学習）の時間には、岩谷緑地に親しむ会の方やのんほいパークの飼育員さんのお話を聞き、動植物のことについて学習していきます。

ふたがわ 3年生の学年目標は「のびる」です。一年間の自分の成長を実感してほしいという願いを込めました。人が伸びる成長するためには、温かい雰囲気で、互いに励まし合う関係が必要です。そこで、三年生では、わからぬことを互いに教え合う『学び合い』に取り組んでいます。「みんながわかるようになります。」その言葉に応えて友達のそばに寄り添って、相手に伝わるように話そうとする姿はとても素敵です。

3年生の学年目標は「のびる」です。一年間の自分の成長を実感してほしいという願いを込めました。人が伸びる成長するためには、温かい雰囲気で、互いに励まし合う関係が必要です。そこで、三年生では、わからぬことを互いに教え合う『学び合い』に取り組んでいます。「みんながわかるようになります。」その言葉に応えて友達のそばに寄り添って、相手に伝わるように話そうとする姿はとても素敵です。

3年 伸びる↑

4年 目標は「ピカイチ」です。
「どの子も学校生活のいろいろな場面で輝いてほしい」という願いを込め、この目標に決めました。

そんな四年生の本年度の学年目標は「ピカイチ」です。
「どの子も学校生活のいろいろな場面で輝いてほしい」という願いを込め、この目標に決めました。

四月から、清掃の時間にウサギの世話をしています。どの子も自分の当番の日を楽しみにして、はりきって取り組んでいます。

4年 ピカイチ！

5年 生の学年目標は、最高学年になったときの姿を見据えて「STEP UP!」にしました。学校生活のあらゆる場面でぐみに前向きにチャレンジし、なんぐん成長してほしいという願いを込めました。

子どもたちの今もっている力を高め、一人一人が輝いていけるような活躍の場面をたくさんつくりていきたいと思います。そして元気いっぱいの四年生が、一生懸命活動に取り組む中で、互いに認め合い協力できる子に成長してほしいと思います。

コロナ禍の折、行事が中止または縮小されています。しかしそんな中でも、できないことを嘆くのではなく、自分たちにできることは何か考えて活動している子どもたち。

5年 「STEP UP!」

6年 生の学年目標は「やってみよう」です。温かい集団のなかで個々がさまざまなことに前向きにチャレンジし、失敗を繰り返しながら成長してほしいという願いを込めました。

今まで培ってきた知識や経験を生かしながら、最上級生として「完ぺきな姿」を見せるではなく、「失敗してもいいから、とにかく前向きに明るくチャレンジする姿」を下級生に示していかなければと思っています。

今までの殻を破り、新たなことに挑戦していきます。そして、次年度には、最高学年として学校をけん引していく子どもたちになってくれると信じています。

6年 やってみよう

六年生の学年目標は「やってみよう」です。温かい集団のなかで個々がさまざまなことに前向きにチャレンジし、失敗を繰り返しながら成長してほしいという願いを込めました。

今まで培ってきた知識や経験を生かしながら、最上級生として「完ぺきな姿」を見せるではなく、「失敗してもいいから、とにかく前向きに明るくチャレンジする姿」を下級生に示していかなければと思っています。

そのため、今年度は、昨年度にも増して、さまざまな先生や交流学級の仲間と関わる機会を増やしています。いろんな人と「できた！」を共感していくことで、自信がつき笑顔が広がっていくことを期待しています。

すきのこ でもる！

今年度は、すきのこ学級ができる！」をめあてとして二年目です。この目標には、子どもたちの内にある「苦手なこと」「やりたくないこと」をさまざまな支援・工夫で乗り越えさせたい。そして、いくつかの「できた！」を積み重ねることにより、がんばれば「できる！」という自信につなげたいという担任の願いが込められています。

そのため、今年度は、昨

年度にも増して、さまざまな先

生や交流学級の仲間と関わる機会を増やしています。いろ

んな人と「できた！」を共感

していくことで、自信がつき

笑顔が広がっていくことを期

待しています。

ご家庭や外部機関とも連携

し、笑顔があふれるすきのこ

学級にしていきたいと思いま

す。どうぞよろしくお願ひし

ます。